

目 次

まえがき

序 章 ━━━━━━━━ i

1 「参照」をめぐる前提問題	i
2 日本における「参照」事例の意義	6
3 これまでの憲法学説の対応	17
4 本書の問題意識	22
5 本書の対象	29

第1部 憲法解釈における国際法規範の「参照」

第1章 カナダにおける国際法規範の地位と「参照」―― 33

1 カナダにおける国際法規範の地位とディクソン・ドクトリン	33
2 国際的義務のない国際法規範の「参照」とディクソン・ドクトリン	
	44

第2章 憲法解釈における国際的義務のない国際法規範の「参照」の展開―― 56

1 キーゲストラ事件以降の国際的義務のない国際法規範の「参照」	
	56

2 国際法規範の「参照」に対する懸念とその後の展開	79
3 カナダ最高裁判決における国際的義務のない国際法規範の「参照」傾向と類型	97

第2部 国際法規範の「参照」の正当性とその限界

第1章 「参照」を支える憲法解釈理論とその限界—— 117

1 「参照」を支える要因——カナダ最高裁における司法積極主義	117
2 憲法解釈における「生ける樹」理論と国際法規範の「参照」	142
3 裁判官による国際法規範の「参照」の限界	166

第2章 憲法解釈における「参照」の正当性とその限界 — 191

1 憲法解釈における「参照」の正当化議論	191
2 国際法規範の「参照」の正当性とその限界	211

補論 外国法および外国判例の「参照」—— 230

1 カナダにおける外国法および外国判例の「参照」	230
2 外国法および外国判例の「参照」状況とその意義	231
3 外国法・外国判例の「参照」の背景と根拠	235
4 補論のまとめ	240

終章 — 241

1 国際法規範の「参照」の正当性	241
2 国際法規範の「参照」と憲法の関係	245
3 国際法規範の「参照」と憲法第98条2項の規範的意義	247

- 4 国際的義務のない国際法規範の「参照」と憲法第98条2項 249
5 裁判所による国際的義務のない国際法規範の「参照」の正当化可能
性とその限界 255

あとがき

初出一覧